

画論 26th The Best Image 参加 報告

医療法人 春林会 華岡青洲記念心臓血管クリニック 近藤 優一

どうする？何にする？そんな自問の中、審査員である山口さんにバレないように細心の注意を払い、同じ施設の谷越くんには内緒にし、例年通り、期限ギリギリで応募した画論 26th。今年も、ありがたいことに、上位入賞ということで、参加させていただきました。前回と違い穏やかな天候の中、飛行機の遅れもほぼなく、“帝国ホテル”に前泊です。ちょいと銀座をぶらぶらしまして、忙しい日々の中でつかの間のリフレッシュをすることができました。

今回は、“たこつぼ型心筋症”を応募しました。冠動脈狭窄、壁運動、心筋性状の評価をCTで完結した一例です。他の心血管関連では、AVMやendoleakといった4D-CT、小児のanomaly、ASD閉鎖術のプランニングといった症例が印象的でした。どの症例も、撮影処理・技術の工夫・診せ方のセンス、患者へのメリット等 関心するものばかりで、参考になりました。

特別公演は、広島大学の粟井 教授からCTのDLR - “AiGE”の概略と臨床例や物理特性について、また、熊本大学の山下 教授によるAIと画像診断、MRIにおけるDLRの効果についての話がありました。 ” AiGE” 楽しみです・・・

さて、審査結果です。 な・な・な・なんとっ！ 最優秀賞！！ 2年連続で恐縮ですが、大変名誉なことに、ただただ驚きました。「これで、また明日からの昼休みのない忙しい日々も乗り切れる・・・頑張ろう」とそーっと心の中でつぶやきました。さらに、当院の谷越くんもテクニカル賞を受賞し、なんとも感慨深い一日となりました。お世話になった キヤノンメディカルシステムズの皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。